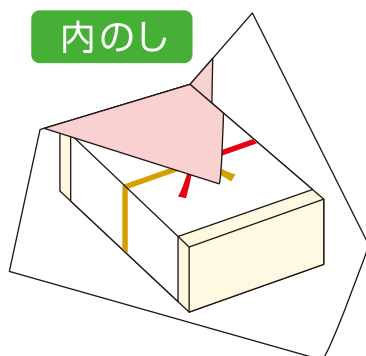
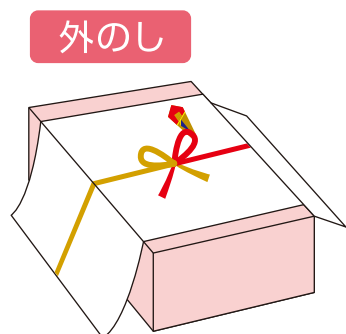


# 外のし・内のしについて

贈答品に欠かせない「のし紙」と「包装紙」の関係において、**包装紙で包んだ上からのし紙を掛ける「外のし」**  
**のし紙を掛けた上から包装紙で包む「内のし」**  
の2方式があります。

ちなみに「関東は外のし」、「関西は内のし」が多いと言われますがどちらが正しいという正式な決まりはありません。贈答目的に応じた渡し方、また地域の習慣に応じて使い分けます。



## ■使い分け

### 外のし

一目で贈答品が分かるので、**贈答品を強調したい時**や**贈る相手に直接、渡す際**に用いられます。(宅配便の場合には外のしにさらにクラフト紙などで包装してお届けする場合があります) 主に結婚・出産祝いなどは「外のし」が適切といえます。また、すぐに開封されない贈答品の場合(お供え等)やみんなの前で披露される場合にも名目が分かりやすい「外のし」が用いられます。

### 内のし

包装紙を開くまで、その贈答目的が一目で分からないので、**贈答品を強調せずに送りたい時**に適しています。主に内祝いに用いられます。また、宅配便などで業者を通じて送り届ける場合は、のし紙が配送の途中で汚損や破損する恐れもあることから、「内のし」にして贈っても特に問題はありません。

## ■使い分けの目安

	外のし	内のし
アピール度	強調したい時	控えめ
用途	主に結婚・出産祝いなど	内祝い
主な贈り方	手渡し	宅配便

